

2020年10月14日

タイにおける新型コロナウイルス感染症の訪日観光への影響

バンコク事務所副所長 堀田 高広

1. 訪日観光客の現状及び今後の展望

2020年7月の訪日外客数は、3,800人（前年同月比99.9%減）で、10カ月連続で前年同月を下回った。タイからの訪日外客数も、前年同月比100%減の20名であり（表1）、日本への直行便は大幅な運休・減便となっている。コロナ前は34便/週¹あった福岡空港への直行便も、現在は0便となり、再開の目途がたっていない²。

こうした状況ではあるが、JNTOバンコク事務所がタイの旅行会社を対象に実施した調査によると、「コロナ後に、訪日旅行商品の販売に注力するか」との問いに対して、「従来通り（75.0%）」「より取り扱いを増加させる（25.0%）」との回答があり、日本への送客には引き続き高い意欲が伺える。また、今後は「30代～40代」、「リピーター」、「家族」、「富裕層」をターゲットに設定し、旅のスタイルは「知人との少人数のグループ旅行」「個人旅行」に変化することが見込まれるとのことである。

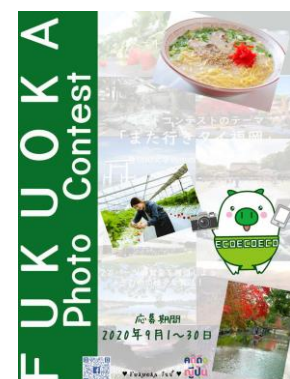
(人)

	2019年		2020年	
	総数	タイ人	総数	タイ人
1月	2,689,339	92,649	2,661,022	112,500
2月	2,604,322	107,845	1,085,147	9,800
3月	2,760,136	147,443	193,658	4,800
4月	2,926,685	164,817	2,917	30
5月	2,773,091	107,857	1,663	10人未満
6月	2,880,041	62,984	2,600	10
7月	2,991,189	73,202	3,800	20

（表1）訪日外客数の推移
出典：日本政府観光局（JNTO）推計値

2. 当事務所の取り組みについて

当事務所が運営するFacebook（FB）の「Fukuoka Wannee³」では、タイ語で福岡に関する情報を発信している。コロナ発生下においては、観光情報に加えて、コロナ感染状況についても発信してきた。現在は、訪日観光再開後のタイ人の来福を促進するため、「福岡フォトコンテスト」をFB上で開催している（写真1）。応募要件は、当事務所FBのフォロワーかつタイ在住者で、福岡での旅の思い出を500字以内で添付することである。計939点の応募作品がFB上



（写真1）福岡フォトコンテスト

¹タイ国際航空14便、タイ・ライオンエア14便、タイ・エアアジアX6便

²タイ国際航空は、2020年5月末、タイの破産法に基づく更生手続の適用を裁判所に申請し、9月14日、会社更生手続きの開始決定を受け、年内に再建策を盛り込んだ更生計画案を作成する予定。

³タイ語で「福岡の今日」。https://www.facebook.com/fukuoka.wannee（フォロワー数3.1万人）

で公開されており、リーチ数は約 10 万人に達した。応募作品には、観光地の写真だけでなく、ラーメン、明太子といった食に関する思い出の写真も多数あり、タイ人の日本食に対する根強い人気を伺うことができる。当事務所のフォロワーは、25 歳から 44 歳までの年齢層が約 7 割を占めており、タイ旅行会社が今後ターゲットとする 30 代～40 代と重複している。応募作品を FB で公開することにより、リピーターの来福意欲を刺激するとともに、新たな観光目的地の情報提供につながるため、効果的な PR が期待できると考えている。10 月下旬には、グランプリを決定する予定であり、応募写真やタイ人が印象に残った思い出を分析し、観光資源の再発見や福岡への観光客誘致に有効活用していきたい。

3. 今後の方策について

現在のコロナ禍において、タイ人の訪日旅行で福岡県が選ばれるために不可欠なことは、安全の確保である。タイは「世界 COVID-19 指数(GCI)」⁴の「回復指数」で首位に選ばれる等、新型コロナ対策が進んでいる評価を得ている。国内での感染症の抑制に成功している自負から、タイ人は海外からのウイルスの持ち込みに強い警戒心を抱いている⁵。こうしたタイ人の感覚からすると安全対策をしっかりと行い、それをタイ人に分かる形で PR することが欠かせない。

次に、SNS での情報発信である。タイの SNS 普及率は約 7 割に達しており⁶、当地の販路開拓アドバイザーは、「SNS で情報発信しないことは、商品を販売していないのと同じだ」と必ず指摘する。実際タイ人は、Facebook や LINE 等の SNS や、YouTube 等の動画サイトにより旅行情報を収集する傾向が強い⁷。SNS の情報発信は、単体で発信しても情報が埋もれてしまうため、共同で実施することが有効である。今回の「福岡フォトコンテスト」は、県観光連盟、JNTO バンコク事務所といった外部機関とも協力して行っているが、今後は九州各県や航空会社とも連携して九州一体となって PR に取り組んでいきたい。

最後に、観光客誘致には、直行便の復活が重要である。タイ・エアアジア X やタイ・ライオンエアの販売責任者と面会した際、コロナ収束後、是非福岡県と共同で観光プロモーションを実施したいと心強い言葉をいただいた。このため、今後、時期を見極めた上で、コロナ収束後に一人でも多くのタイ人に福岡を訪問してもらえるように、航空会社にも働きかけを行っていきたい。

⁴マレーシアの官民セクターが共同開発した世界の新型コロナウイルス感染状況を示す指数

⁵タイ国内では、7月、自主隔離を怠った外国人兵の感染が発覚し、兵士が訪問した商業施設が営業中止、同県の学校 127 校が休校となった。また、9月3日、101 日ぶりに海外渡航歴がないタイ人の感染が確認され、軽度の接触者まで含め 1,004 人もの検査を行った。

⁶タイ電子取引開発機構 (ETDA) 2018 年インターネットの利用概要

⁷観光庁「訪日外国人の消費動向」2019 年年度報告書